しんじょう

2025.10.20
すさき・かわうそクラブ会報
―№37―
発行：すさき・かわうそクラブ事務局

令和7年度
すさき野外博物館

ジンデ池の生きもの観察会

5月11日（日）

安和のジンデ池で、生きもの観察会を行いました。池に入って生き物を採集するグループと池周辺を散策し採集するグループに分かれて行動しました。

池グループ

胴長を着用後、4～5人ずつで班分けをし、実際に池に入って普段の研究所の活動を体験しました。1時間ほど採集の時間がありましたが、大人から子どもまで夢中になって、ヤゴやイモリ、おたまじゃくしやメダカなどたくさんの生き物を捕まえることができました。子どもたちの生き物を見つけた時の歓声がかわいらしく、大変嬉しそうで良かったです。普段池に入って生き物を探す機会はなかなかないと思いますので、とても貴重な体験になったことと思います。

池周辺グループ

主に就学前の小さな子どもたちと保護者から構成され、全員で網を持ち草原を散策したり、山を登って行ったりして生き物を収集しました。網の使い方から教えていただき、石を裏返すと普段は気づかないような小さな虫がいたり、数種類の蝶がいたりと意識して探してみるとたくさんの生き物がいて驚きました。

植村さんの「池を残したい」という想いから始まった調査に多くの人が賛同し、これまで活動が続けられています。この活動を須崎市内外の人に知ってもらうきっかけにもなる貴重な機会となりました。

ヤモリ観察会

8月9日（土）

南地区の野見潮ばかり公園にて、ヤモリ観察会を行いました。

まず始めに、講師の方よりヤモリの生態について説明があり、メスとオスの見分け方や、住んでいる場所によって個体それぞれの模様や色に違いが出てくること、カメレオンのように擬態することなどを教わりました。その後、公園とその周辺を散策しヤモリを探しました。公園内の休憩スペースの屋根部分で2匹、公園横の小さな神社で2匹、公園周辺のお地蔵さんがある場所で1匹、発見・採集することができました。

もともと須崎で発見されたことのあるヤモリは、ニホンヤモリ、タワヤモリ、ミナミヤモリの3種でしたが、タワヤモリ、ミナミヤモリはかなり珍しいとのことで、今回発見できたヤモリはニホンヤモリの1種でした。発見できた種は1種でしたが、合計5匹見つけることができ、参加者のみなさまも喜んでくれたので良かったです。夜の開催になり、安全面や参加者が集まるかどうか心配な面もありましたが、実施日は夏の時期にもかかわらずとても過ごしやすい気温で、参加者からも「夜に採集する機会はなかなかないのでいい機会だった」という声もいただき、夜の開催で良かったと思います。